

二〇一四年七月二十三日 掲載
物流二ツポン

今期、増収増益めざす

運賃値上げ環境整う

DTHD

第一貨物を中核事業会社とするディー・ティー・ホールディングス（DTHD、東京都江東区）の武藤幸規社長は16日、2015年3月期の業績見通しについて「ドライバー不足などで物流業界はマーケット全

体が改善に向かっている。（取引先に対し）運賃の引き上げをお願いする環境も整ってきた」と述べ、業績確保に自信を示した。昨年後半から業界を取り巻く経営環境は大きく改善。武藤氏は「ドライバーや車両不足が一段と鮮明になってきた。需給関係は以前にも増してタイトになってきてい

る。運賃の値上げ分は待遇改善や人員確保など『拡大再生産』の費用に充てたい」と言及。その上で「売り上げは微増となるだろうが、業務の効率化の徹底などで、何としても増益を確保したい」と述べた。

14年3月期の連結決算は売上高1087億3200万円、経常利益23億160

0万円だった。このうち、第一貨物を中心とした物流部門は売上高703億79

00万円（前の期比1・8%増）。経常損益もコスト削減や効率化が寄与し、7

億5500万円に黒字転換した。

（高木明）